

【開催概要】

木曾川と長良川をつなぐ船頭平閘門が明治35年3月に竣工され、今年が120年の節目にあたることから、NPO法人木曾川文化研究会の主催で、令和4年10月10日(月・祝)に船頭平河川公園で船頭平閘門120周年祭 閘門フェスティバルが開催されました。(共催:愛西市観光協会、木曾川下流河川事務所)

開催にあたり、地元の愛西市長、船頭平閘門の管理者である木曾川下流河川事務所長のほか、船頭平閘門の建設にあたり国会へ閘門設立の請願を行った佐藤義一郎氏の御子孫であるサンジルス醸造株式会社 佐藤会長より挨拶の後、愛西市の高校生より船頭平閘門を次世代に引き継いでいくとの宣言がありました。

イベントには約250名が参加し、会場では船頭平閘門120年の歴史を伝えるパネル展示や映像上映のほか、折り紙ヒコーキ大会、紙芝居の実演などが催されました。水上では漁船、プレジャーボート、Eボートなどによる乗船体験が行われ、参加者は様々な方法で船頭平閘門の歴史や文化に触れることができました。



愛西市観光協会
加藤会長



日永愛西市長



木曾川下流
大坪事務所長



120周年を祝う船のパレード



イベント参加者による乗船体験



サンジルス醸造(株)
佐藤会長



愛西市の高校生
土方さん



NPO文化研究会
久保田理事長



パネル展示・映像上映



デ・レーケ像の下での折り紙ヒコーキ大会